

平成 28 年度

図書館概況



みしまるくん みしまるこちゃん

三島市立図書館

目 次

はじめに	-----	P 1
1. 沿革	-----	P 2
2. 職員構成	-----	P 6
3. 図書館協議会	-----	P 6
4. 施設の概要	-----	P 7
5. 利用案内	-----	P 8
6. 予算	-----	P 9
7. 蔵書	-----	P10
8. 利用状況	-----	P11
9. 自主事業	-----	P16
10. 平成 28 年度予算	-----	P24
11. 平成 28 年度主要事業	-----	P25
 <参考資料>		
三島市立図書館条例	-----	P27
三島市立図書館条例施行規則	-----	P29
三島市立図書館資料収集方針	-----	P33
三島市立図書館資料除籍基準	-----	P36

は じ め に

近年、テレビやDVD、携帯電話、インターネット等の情報メディアの普及により、子どもを取り巻く環境が大きく変化し、子どもの「読書離れ」が指摘されております。

このような中、国では読書活動の重要性を鑑み、平成13年12月に、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布、施行しました。

三島市においても家庭や地域、学校、行政が一体となり、子どもの読書活動の積極的な推進を図るため、平成18年に3月に0歳児から18歳までの子どもを対象とした「三島市子どもの読書活動推進計画」を策定しました。

この推進計画の中では、三島市のすべての子どもが、自主的に読書活動を行うことができるよう、ライフステージごとの諸事業を展開しており、3か月児対象の「ブックスタート事業」、2歳児を対象とした「セカンドブック事業」等、乳幼児期から読書に親しむ環境づくりを行っています。これらの事業が、将来の三島を担う子どもたちの「読書好き」や読書の大切さの認識につながる一助になってくれることを願っております。

今年は、4月29日に三島市市制施行75周年を迎え、これを記念した「みしまの文化百花繚乱」が9月～11月に開催されます。文化の一翼を担う図書館としての役割も一層重要になると考えております。

最後に、三島市立図書館では、市民の誰もが利用できる地域の情報拠点として、多様化・高度化する資料ニーズに応えられるよう、資料の調査や紹介を行うレファレンスサービス、読書案内、相互貸借による他館資料の貸し出し、障がい者サービス等を行っています。お困りのこと、相談したいこと等がありましたら、職員にお気軽に声をかけていただければ幸いです。

平成28年5月



三島市立図書館

1 沿革

- 大正 4年 3月 三島町立図書館開館。芝町水上（現中央町6番24号 田中耳鼻咽喉科医院のところ）の三島第一尋常高等小学校に付設され、同校の応接室に書架を置き貸出しを主として運営。職員は同校の校長が館長を兼務し、教員が2～3人委嘱されて事務を執っていたがその後予算が削られ、寄付金にたよっていたので新刊図書の購入も思うようにできず、年毎に衰微をたどり、大正の末頃にはまったく有名無実の存在となる。昭和5年の震災により同校が大破、田町柵木（現南小学校）に移転することにより三島町立図書館が閉鎖された。
- 昭和25年 7月 「図書館法」の施行を機に市内旧小中島432番地（現南本町三島市立社会福祉会館のところ）に市有既存の木造二階建建物を修理転用して三島市立図書館を設置した。
敷地面積 399.3 m² 建物延面積 256.4 m²
- 昭和25年12月 三島市立図書館開館。三島婦人連盟の協力による市民からの図書共進運動によって寄贈された図書と町立図書館時代の蔵書に、購入した新刊書を加え、約3,000冊の図書と館長1人、司書1人、司書補1人、雇用1人計4人の職員で業務開始した。
- 昭和35年11月 東京都世田谷区弦巻4丁目33番18号 鉄興社会長 故佐野隆一翁からの寄付金1,300万円を基に新館を大宮町1丁目7番6号に建設した。
寄付者の名をとって「三島市立図書館佐野記念館」と称する。
- 昭和35年12月 三島市立図書館佐野記念館開館。（蔵書19,828冊、館員5人）
- 昭和38年 6月 「館外個人貸出し」及び「団体貸出し」業務を開始した。
- 昭和39年 9月 「文学講座」開催。9月に4回開催。
- 昭和40年頃 地域の公民館等を夜間巡回し、図書貸出と映画上映する「移動図書館」を開始した。
- 昭和48年 5月 「文学散歩」を市のバスを使用して実施した。
- 昭和48年10月 「三島市立図書館手数料条例」を制定し、複写サービス業務を開始した。
- 昭和51年 4月 三島市民であり第13回野間児童文芸賞受賞の児童文学者小出正吾氏からの寄付金50万円を基に、108万円で移動図書館車を購入した。
愛称を、寄付者の著書より「ジント号」と命名した。
- 昭和51年10月 日頃、市立図書館利用がむずかしい遠方地域の主として子どもたちを対象に、5つのステーションを設けて毎月2回「ジント号」が巡回する個人貸出しを開始した。
- 昭和56年12月 26人乗りマイクロバス改造の移動図書館車に買い替えた。
(2,500冊積載、定員4人、購入費 650万円)
- 平成 4年 1月 (社)日本図書館協会に委託した「三島市図書館計画調査報告書」が提出された。

平成 4 年 7 月	昭和 35 年に建設された図書館が老朽化したため、将来の図書館づくりに向けて「三島市図書館建設特別部会」が設置され、基本的な建設構想が策定された。
平成 5 年 3 月	トラック改造の移動図書館車に買い替えた。 (2,500 冊積載、定員 4 人、購入費 9,999,240 円)
平成 5 年 4 月	市議会に「図書館等建設特別委員会」が設置される。 新図書館建設準備のため「図書館建設準備室」が教育委員会に設置される。
平成 5 年 1 1 月	生涯学習センター建設に向けて「図書館建設準備室」が「生涯学習センター建設室」と改称される。また、市議会で「図書館等建設特別委員会」の委員長報告がなされる。
平成 5 年 1 2 月	(仮称)「三島市生涯学習センター建設基本構想」が策定される。
平成 6 年 1 0 月	(仮称)「三島市生涯学習センター」建設のため「三島市立図書館佐野記念館」の解体に伴い、三島市民文化会館 3 階に「臨時図書貸出所」を開設し移転した。
平成 7 年 7 月	図書選定委員委嘱。
平成 7 年 6 月	(仮称)「三島市生涯学習センター」の建設が始まる。
平成 7 年 9 月	(仮称)「中郷文化プラザ 中郷分館」の建設が始まる。
平成 8 年 1 2 月	「三島市立図書館中郷分館」開館した。
平成 9 年 4 月	「三島市立図書館本館」開館。(1997/04/29 開館) 休館日を図書整理日(月末・特別)及び年末年始のみとした。
平成 1 0 年 4 月	休館日を見直し、月曜日の定例休館日を加えた。
平成 1 2 年 7 月	三島市立図書館は開館 50 周年を迎える。
平成 1 4 年 3 月	新館開館時に導入した電算システムが更新時期になったため、新しい機能をもった電算システムに変更した。
平成 1 4 年 4 月	図書館を支援する「図書館ボランティア」が活動を開始した。
平成 1 4 年 5 月	絵本を介して親子のふれあいを深めてもらうブックスタート事業を開始した。
平成 1 4 年 6 月	図書館ホームページを開設、蔵書目録をインターネット公開。館内でインターネットパソコンや CD-ROM を利用し、調べものができるようになった。また、有料オンラインデータベースを導入した。
平成 1 5 年 6 月	9 月まで、市民の図書館への要望を把握するため、利用者アンケート調査と、平日午後 7 時までの開館延長を試行した。
平成 1 5 年 9 月	視聴覚コーナーの視聴機器を更新し、CD、VTR に加え、DVD の館内利用ができるようにした。
平成 1 5 年 1 0 月	インターネット・i モードから貸出中資料の予約ができるようにした。 ブックスタート事業を支援する「ブックスタートボランティア」が活動を開始した。
平成 1 6 年 3 月	静岡県横断検索システムの開始と同時に参加、参加館の蔵書の一括検索が可能となった。
平成 1 6 年 4 月	レファレンスコーナーを平日午後 7 時まで開館延長した。

平成16年	6月	館内の検索機から貸出し中資料の予約ができるようにした。
平成17年	4月	三島本町タワー4階の本町プラザ内に三島ゆかりの文学などの紹介や資料展示をする「ふるさと歴史文学コーナー」を開設した。
平成17年	4月	子ども読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受ける。
平成18年	3月	「図書館のビジネス支援（静岡県立中央図書館発刊）」に当館が掲載される。（関連分野の図書やデータベース資料充実等）
平成18年	3月	「三島市子ども読書活動推進計画」を策定した。
平成18年	8月	放送大学静岡学習センターが建て替えのため、学習室等に仮入居した。このため学習室は、3階と5階へ移設した。
平成18年	8月	「三島市指定管理者制度特別部会」で検討した結果、図書館については現行の直営を継続するとの報告がされた。
平成19年	3月	図書館電算システムを更新した。
平成19年	9月	図書館の情報を行政にも活用してもらうため、市職員向けメールマガジンの配信を開始した。
平成19年	12月	定年を迎えた団塊世代向けに、図書館ホームページにシニア向けページを開設した。
平成19年	12月	視覚障害者情報ネットワーク「ないーぶネット」（現サピエ）への会員種別の変更申請が承諾され、データ（点訳図書）提供開始。
平成20年	3月	放送大学静岡学習センターの移転に伴い、パソコン利用ができるよう学習室の整備を行った。又、視聴覚コーナーの書架の増設も行った。
平成20年	4月	図書館ホームページに図書館の利用に関する「図書館Q&A」を追加した。
平成21年	2月	携帯電話版図書館ホームページに移動図書館車の運行スケジュールを追加した。
平成22年	3月	「24時間テレビ」チャリティー委員会による障害者サービス用機器の贈呈を受けた。
平成22年	11月	「ブックスタート」事業のフォローアップ事業として、「セカンドブック」事業を開始した。
平成23年	2月	財団法人日本宝くじ協会の助成により、トラック改造の第4代目移動図書館車を購入し、出発式を開催した。
平成23年	3月	3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東京電力が計画停電を実施した。生涯学習センター・中郷文化プラザ等の三島市の社会教育施設は15日から夜間閉館にしたため、本館・中郷分館ともに午後5時までの開館とした。（4月12日より通常開館）
平成23年	12月	「地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）」を利用して、本館視聴覚コーナーにICタグシステムを導入。視聴覚資料にICタグを整備し、コーナー入口にICゲートを設置した。
平成24年	3月	第2次三島市子ども読書活動推進計画を策定した。
平成24年	6月	在庫予約サービスを開始した。

平成24年12月	図書館電算システムを更新した。これに伴い図書館ホームページをリニューアルした。ホームページでパスワード新規登録ができるようになった。貸出状況、返却期限お知らせの新しいメールサービスを開始した。メールでの督促を開始した。
平成25年 4月	生涯学習センター屋外立体駐車場共用開始
平成25年 7月	スマホ専用ホームページ公開
平成26年 5月	移動図書館車ジンタ号3台目が南アフリカで活用されることになり、南アフリカ共和国大使館にて出港式が行われた。(22日)
平成26年12月	雑誌スポンサー制度の募集を開始した。(雑誌の提供は平成27年4月)
平成27年 3月	国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスヘデータ(音訳図書)提供開始。
平成27年 4月	レファレンスコーナー入口にICゲートを設置した。
平成28年 5月	2階閉架書庫内に新規書架を設置し、保存場所の確保を図った。

2 職員構成

項目		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
本館	正規職員 (司書)		14 (10)	14 (10)	14 (11)	14 (11)	14 (12)	14 (10)
	嘱託職員 (司書)		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	臨時職員 (司書)		15 (11)	16 (11)	15 (11)	15 (12)	16 (12)	16 (12)
	計 (司書)		30 (21)	31 (21)	30 (22)	30 (23)	31 (24)	31 (22)
	産休等代替職員 (司書)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
分館	正規職員 (司書)		2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
	嘱託職員 (司書)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	臨時職員 (司書)		3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (3)
	計 (司書)		5 (3)	5 (3)	5 (3)	5 (3)	5 (3)	5 (5)
合計	正規職員 (司書)		16 (12)	16 (12)	16 (13)	16 (13)	16 (14)	16 (12)
	嘱託職員 (司書)		1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	臨時職員 (司書)		18 (12)	19 (12)	18 (12)	18 (13)	19 (13)	19 (15)
	計 (司書)		35 (24)	36 (24)	35 (25)	35 (26)	36 (27)	36 (27)
	産休等代替職員 (司書)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

3 図書館協議会

委員名簿

任期（平成27年4月1日～平成29年3月31日）

※敬称略

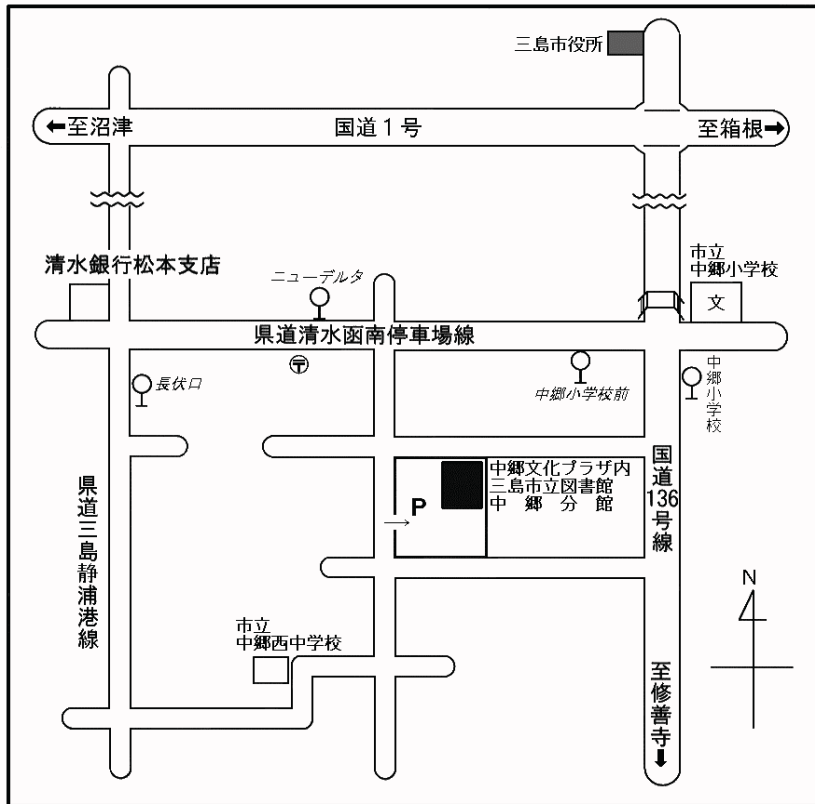
No.	役職	氏名	備考
1	会長	藤澤 全	学識経験者
2	副会長	段 千 恵 子	家庭文庫代表
3	委員	白 井 由 美 子	学識経験者
4	委員	高 橋 洋 子	学識経験者
5	委員	上 野 博 史	市立小中学校校長会代表
6	委員	渡 邊 武 一 郎	日本大学三島高等学校校長
7	委員	江 頭 路 子	絵本作家

※平成28年4月現在

□中郷分館（中郷文化プラザ内）

図書館部分面積 ----- 355 m²

案内図



交通等のご案内

バス停 長伏口より
徒歩10分
循環バス「なかざと号」
中郷文化プラザ下車
駐車・駐輪場あり

連絡先
〒411-0816
三島市梅名353-1
Tel. 055-982-5102

5 利用案内

□開館時間

平	日	午前9時30分～午後5時（児童コーナー・視聴覚コーナー） 午前9時30分～午後7時（一般図書コーナー・レファレンスコーナー）
土・日・祝日		午前9時30分～午後5時

□休館日

月	曜	日	（祝日にあたる場合は開館し、翌日休館）					
図	書	整	理	日	（毎月末日、ただしその日が土・日・月曜日・祝日にあたる場合は別に定める日）			
図	書	特	別	整	理	期	間	（毎年2週間以内）
年	末	年	始	（12月28日～1月3日）				

★利用対象者

三島市在住又は通勤通学の方及び貸出期間内に返却することが可能な方。

★利用者登録

[貸出カード]の作成・登録

「貸出カード申込書」に必要事項を記入し、免許証等身元を証するものを添えて申し込みます。

★資料の貸出

対象資料に貸出カードを添えて、各カウンターで手続きをします。

貸出可能な資料数と期間

図書資料 ----- 1人 10冊以内

視聴覚資料 ----- 1人 3点以内

雑誌 ----- 1人 3冊以内（最新号以外）

上記資料の貸出期間は、2週間以内

（移動図書館での貸出期間は、次回の巡回日までとなります）

★資料の返却

- ・借りた資料は、図書館本館・中郷分館・移動図書館（ジンタ号）のどこでも返却できます。
- ・カウンター職員にお返しく下さい。
- ・閉館時の返却は、各館入口右側にある「ブックポスト」に入れてください。
- ・視聴覚資料は壊れやすいので、開館中にカウンター職員へお返しく下さい。

6 予 算

<当初予算>

(単位：千円)

項目 \ 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般会計予算	37,470,000	33,780,000	33,871,000	35,800,000	35,530,000	35,670,000
教育費	5,293,758	4,000,550	3,868,729	3,979,207	3,866,286	4,366,750
社会教育費	1,204,602	1,537,280	1,244,780	1,173,298	1,034,400	1,041,339
図書館費	220,412	218,361	210,526	213,772	219,040	218,733
図書資料購入費	39,118	39,118	38,338	38,338	37,961	37,896
図書資料購入費前年度比	100.0%	100.0%	98.0%	100.0%	99.0%	99.7%

7 蔵 書

◇ 蔵書冊数

単位：冊・点

項目	年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
一般図書		306,838	315,428	324,070	333,983	341,051
児童図書		94,592	96,943	98,970	100,759	103,279
視聴覚資料		20,250	21,222	21,998	22,491	22,554
合 計		421,680	433,593	445,038	457,233	466,884
前年度比		102.0%	102.8%	102.6%	102.7%	102.1%

◇ 蔵書構成 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

単位：冊・点

図書	本館			移動図書館			中郷分館			計		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
0類 総記	10,562	1,555	12,117	27	29	56	680	154	834	11,269	1,738	13,007
1類 哲学	11,350	536	11,886	47	37	84	717	148	865	12,114	721	12,835
2類 歴史	28,470	3,595	32,065	117	63	180	1,922	573	2,495	30,509	4,231	34,740
3類 社会科学	49,573	3,594	53,167	152	54	206	2,989	682	3,671	52,714	4,330	57,044
4類 自然科学	19,920	5,801	25,721	210	473	683	1,791	1,105	2,896	21,921	7,379	29,300
5類 技術・工学	24,055	2,161	26,216	596	181	777	2,712	661	3,373	27,363	3,003	30,366
6類 産業	8,596	1,319	9,915	98	97	195	1,032	374	1,406	9,726	1,790	11,516
7類 芸術	24,993	3,275	28,268	104	372	476	2,473	824	3,297	27,570	4,471	32,041
8類 言語	5,673	789	6,462	7	34	41	453	161	614	6,133	984	7,117
9類 文学	92,393	28,928	121,321	1,432	2,355	3,787	7,689	4,394	12,083	101,514	35,677	137,191
絵本	0	26,385	26,385	0	2,657	2,657	0	6,196	6,196	0	35,238	35,238
紙芝居	0	1,538	1,538	0	206	206	0	366	366	0	2,110	2,110
外国語資料	4,390	151	4,541	0	0	0	44	0	44	4,434	151	4,585
地域資料	31,835	1,307	33,142	23	2	25	2,400	4	2,404	34,258	1,313	35,571
点字図書	300	0	300	0	0	0	0	0	0	300	0	300
音訳図書	157	0	157	0	0	0	0	0	0	157	0	157
電子資料	593	6	599	0	0	0	13	0	13	606	6	612
その他図書	452	107	559	0	7	7	11	23	34	463	137	600
小計	313,312	81,047	394,359	2,813	6,567	9,380	24,926	15,665	40,591	341,051	103,279	444,330
CD		11,550			0			2,003			13,553	
VTR		3,424			0			3			3,427	
DVD		4,950			0			607			5,557	
その他視聴覚		17			0			0			17	
小計		19,941			0			2,613			22,554	
合 計		414,300			9,380			43,204			466,884	

※大岡文庫 3,178 冊 小出文庫 6,174 冊 (蔵書冊数には含まない。)

◇ 新聞・雑誌

	収集区分	本館	移動図書館	中郷分館	計	合計
新聞	購入	17	0	9	26	35
	寄贈	7	0	2	9	
雑誌	購入	152	3	63	218	446
	寄贈	181	0	34	215	
	雑誌スポンサー	13	0	0	13	

*年度途中にて休刊されたものも含む。

※雑誌スポンサー制度 法人、団体、個人事業主等に雑誌の購読料を負担してもらう代わりに、企業の広告を雑誌架、雑誌カバーに掲示する。

8 利用状況

◇ 登録者数（個人）

年齢	区分	市内	市外	計	人口	人口登録比	H26人口登録比
0歳～6歳		1,760	124	1,884	6,315	27.9%	27.7%
7歳～12歳		4,747	437	5,184	6,049	78.5%	75.8%
13歳～19歳		3,136	613	3,749	7,407	42.3%	42.6%
20歳～29歳		3,821	1,497	5,318	10,268	37.2%	37.7%
30歳～39歳		4,336	1,594	5,930	12,816	33.8%	33.8%
40歳～59歳		8,417	3,202	11,619	30,984	27.2%	27.4%
60歳～		6,555	1,751	8,306	37,644	17.4%	17.4%
合計		32,772	9,218	41,990	111,483	29.4%	29.5%

◇ 貸出点数(本館・移動図書館・中郷分館の合計)

月別・種類別内訳 平成27年度 貸出点数 791,729点 (前年度比98.9%)

貸出冊数・貸出点数									
	月別	一般	児童		雑誌	視聴覚			計
			児童図書	絵本 紙芝居		CD	ビデオ	DVD	
個人	4月	35,076	8,111	9,937	3,184	2,693	23	1,580	60,604
	5月	38,764	10,080	12,353	3,298	2,867	20	1,835	69,217
	6月	35,164	9,467	12,138	3,062	2,555	21	1,547	63,954
	7月	37,444	11,603	12,210	3,232	2,752	18	1,768	69,027
	8月	37,511	13,165	12,605	3,196	2,699	16	1,864	71,056
	9月	36,317	9,795	11,972	3,034	2,686	18	1,631	65,453
	10月	37,769	9,922	13,091	3,347	2,953	19	1,543	68,644
	11月	31,320	9,045	11,634	2,606	3,003	8	1,494	59,110
	12月	34,043	9,099	11,589	2,790	2,571	18	1,280	61,390
	1月	36,736	9,590	12,289	3,116	2,748	10	1,379	65,868
	2月	34,711	9,110	12,254	2,917	2,763	6	1,382	63,143
	3月	37,537	9,027	11,795	3,254	2,791	21	1,413	65,838
年間計	432,392	118,014	143,867	37,036	33,081	198	18,716	783,304	
団体・協力館	年間計	1,741	2,817	3,841	22	0	0	4	8,425
合計		434,133	120,831	147,708	37,058	33,081	198	18,720	791,729

◇ 貸出人数・貸出点数の前年度との比較

平成27年度末 貸出人数 255,644人 貸出点数 791,729点

項目 月別	3館合計の貸出人数・貸出冊点数の前年度比較					
	当年度人数	前年度人数	増減	当年度点数	前年度点数	増減
4月	19,742	20,897	-1,155	62,451	65,908	-3,457
5月	22,811	22,357	454	70,406	70,483	-77
6月	21,112	21,961	-849	64,378	68,319	-3,941
7月	22,276	22,433	-157	69,736	70,460	-724
8月	22,965	23,896	-931	71,387	76,148	-4,761
9月	21,483	20,928	555	66,061	65,739	322
10月	22,703	22,471	232	69,216	69,693	-477
11月	18,534	19,306	-772	59,681	62,832	-3,151
12月	19,606	18,024	1,582	62,183	57,555	4,628
1月	21,950	21,485	465	66,406	65,286	1,120
2月	20,991	21,185	-194	63,626	64,000	-374
3月	21,471	20,787	684	66,198	64,208	1,990
計	255,644	255,730	-86	791,729	800,631	-8,902

◇ 貸出人数と貸出点数の館別内訳

項目 月別	本館				移動図書館			中郷分館		
	開館日数	入館者数	貸出人数	貸出点数	巡回日数	貸出人数	貸出点数	開館日数	貸出人数	貸出点数
4月	23	30,357	16,791	52,122	12	495	2,078	25	2,456	8,251
5月	26	36,551	19,364	58,795	12	742	2,964	26	2,705	8,647
6月	24	35,026	17,732	53,087	12	941	3,461	24	2,439	7,830
7月	26	39,010	19,105	58,850	12	580	2,276	26	2,591	8,610
8月	25	45,182	19,939	61,016	12	181	924	25	2,845	9,447
9月	25	34,750	18,031	54,930	13	982	2,979	25	2,470	8,152
10月	26	36,444	19,227	57,659	14	773	3,099	26	2,703	8,458
11月	20	28,652	15,128	48,066	13	886	3,580	24	2,520	8,035
12月	21	27,205	16,487	51,155	14	807	3,369	24	2,312	7,659
1月	23	32,022	18,597	55,266	12	922	3,330	21	2,431	7,810
2月	23	33,585	17,652	52,585	12	758	3,138	23	2,581	7,903
3月	26	34,657	18,468	55,763	12	532	2,313	26	2,471	8,122
合計	288	413,441	216,521	659,294	150	8,599	33,511	295	30,524	98,924
前年度	289	418,141	216,740	665,817	144	8,657	34,101	294	30,333	100,713
増減	-1	-4,700	-219	-6,523	6	-58	-590	1	191	-1,789

◇ 利用統計（集計）のまとめ

区 分	開館日数（日）	入館者数（人）	貸出人数（人）	貸出冊数（冊）
本 館	288	413,441	216,521	659,294
移動図書館	150	****	8,599	33,511
中 郷 分 館	295	****	30,524	98,924
合 計	***	413,441	255,644	791,729
平成 26 年度	289・144・294	418,141	255,730	800,631
増 減	***	-4,700	-86	-8,902

◇ 各種統計指標

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
人口 1 人当たり蔵書冊数 蔵書総数/人口（冊）	3.73	3.85	3.96	4.10	4.19
人口に対する市民登録率 市民登録者/人口（%）	29.76	29.88	29.44	29.46	29.40
人口 1 人当たり貸出冊数 貸出総数/人口（冊）	7.66	7.31	7.25	7.17	7.10
人口 1 人当たり貸出冊数 貸出個人数/人口（冊）	7.59	7.25	7.19	7.10	7.03
蔵書数に対する貸出回転率 貸出総数/蔵書総数（倍）	2.05	1.90	1.83	1.75	1.70
市民 1 人当たり資料購入費 図書資料費/人口（円）	345.69	347.99	334.77	354.34	337.93

※人口は 111,483 人（平成 28 年 3 月 31 日現在）

◇ 移動図書館

昭和 51 年から実施している移動図書館車（愛称：ジンタ号）は、図書館から離れた地域の 29 ステーションを月 1 回巡回し、図書の貸出を行っている。平成 27 年度は子ども読書推進関連事業の一環として、若葉保育園・南幼稚園でジンタ号での閲覧・貸出の他、向山小学校への試行巡回を行った。

（旧市内）

（北上地区）

地 区	西（清住町）	加 茂	沢地小	沢地幼	徳倉小	徳倉5丁目
駐 車 場 所	電業社社員 クラブ前	きじ公園	沢地小学校	沢地幼稚園	徳倉小学校	晴山台防火貯水 槽敷地内
貸 出 人 数	44	207	430	379	627	105
貸 出 冊 数	213	1,083	1,407	1,328	2,527	775

地 区	萩	芙蓉台	光ヶ丘	富士見台	佐野見晴台	佐野小
駐 車 場 所	北上文化プラザ	芙蓉台公民館	光ヶ丘公民館	富士見台自治会館	やまぼと公園	佐野小学校
貸 出 人 数	77	200	118	59	209	520
貸 出 冊 数	501	1,156	529	320	1,058	1,694

（錦田地区）

地 区	北上小	小山押切	錦田こども園	玉 沢	錦 田	錦が丘
駐 車 場 所	北上小学校	市立老人ホーム	錦田こども園	玉沢昭寿園	錦田公民館	錦が丘自治会集会所
貸 出 人 数	997	160	779	65	133	79
貸 出 冊 数	3,260	790	3,744	248	769	423

地 区	松が丘	山田小	小 沢	坂 小	三恵台	旭ヶ丘幼
駐 車 場 所	松が丘公園	山田小学校	小沢公民館	坂小学校	三恵台自治会館	旭ヶ丘幼稚園
貸 出 人 数	159	440	39	503	89	349
貸 出 冊 数	897	1,345	280	1,919	422	1,255

(中郷地区)

地 区	赤王(大場幼)	バサディナ	東大場	多呂・北沢	長伏小	向山小試行
駐 車 場 所	大場幼稚園	赤王山公園	東大場集会所	多呂公民館	長伏小学校	向山小学校
貸 出 人 数	314	18	121	80	814	402
貸 出 冊 数	1,299	85	499	280	2,851	403

	子ども読書推進関連事業	
駐 車 場 所	若葉保育園	南幼稚園
貸 出 人 数	41	42
貸 出 冊 数	71	80

	合計	前年度	比率
	延 328 箇所	延 321 箇所	102.2%
	8,599	8,657	99.3%
	33,511	34,101	98.3%

※雨天等中止 16 回 (前年度雨天等中止 16 回)

◇ 団体貸出

市内の家庭文庫、社会教育関係団体等を対象に、100 冊以内、2 ヶ月まで貸出しを行った。

館別	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
本 館	4,712	4,513	4,361	5,050	5,711
中郷分館	991	1,721	1,609	1,437	1,583
合 計	5,703	6,234	5,970	6,487	7,294

◇ リクエスト・予約件数

利用者の求める資料(図書・雑誌)が、貸出中、または図書館で所蔵していない場合などに、後日資料を提供するサービスである。

購入できない資料については、他の公共図書館からの相互貸借や、県立図書館からの協力貸出しを受け利用者へ提供した。

<提供件数>

館別	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
本 館	20,772	24,220	27,852	28,496	29,093
移動図書館	622	653	697	680	640
中郷分館	5,921	7,694	7,027	7,148	7,022
合 計	27,315	32,567	35,576	36,324	36,755

うち、相互貸借での借受け件数 1,349 件：本館取扱 1,187 件、中郷分館取扱 162 件

<受付件数> インターネット予約： 24,694 件(平成 26 年度 22,671 件)
 館内利用者用検索機予約： 5,534 件(平成 26 年度 6,028 件)
 窓 口 予 約： 10,624 件(平成 26 年度 11,567 件)
 計： 40,852 件

◇ レファレンス件数

利用者の調査・研究のため、図書館資料の紹介や利用に対する援助を行った。レファレンス業務のため、G-Search・法庫・官報情報検索サービス・静岡新聞データベースプラス日経テレコン・朝日新聞オンライン記事データベース聞蔵Ⅱの5件の有料オンラインデータベースを導入している。

館別 \ 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
本 館	24,488	23,207	24,107	22,279	23,484
移動図書館	144	139	170	260	315
中郷分館	1,293	1,618	1,438	1,577	3,662
合 計	25,925	24,964	25,715	24,116	27,461

◇ 複写サービス件数

著作権法に基づいて、図書館資料の複写サービスを行った。

館別 \ 枚数	件 数(件)	複写枚数 (枚)
本 館	2,061	20,888
中郷分館	58	163
合 計	2,119	21,051

◇ 図書館ホームページ・アクセス件数

図書館ホームページを平成 14 年 6 月に開設し、利用案内や蔵書目録のインターネット公開を開始した。これにより所蔵資料の検索及び自分が借りている資料や予約中の資料を確認することができるようになった。

平成 25 年 7 月にスマートフォン専用のホームページを公開した。また、ホームページは多言語対応となった。

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
アクセス件数	183,442	358,108	183,649	229,532	214,168

9 自主事業

◇ 文学講座

昭和 39 年に開催以来 51 年を経過し、年々市民の講座への関心は深まり、読書普及事業の中核となっている。

※敬称略

開催日	内 容	講 師
6 月 27 日 (土)	英国女性が見た明治期の日本 —イザベラ・バードの紀行文より—	梅本 順子 日本大学教授 博士 (国際関係)
7 月 11 日 (土)	シェイクスピアの面白さ —夫婦・親子の葛藤—	佐藤 三武朗 佐野短期大学学長・ 元日本大学国際関係 学部長
8 月 8 日 (土)	太平記と三島	藤岡 武雄 元日本大学教授・ 文学博士
9 月 26 日 (土)	「異国の戦争」と戦争小説の流行 —レマルク『西部戦線異状なし』 (秦豊吉訳、1929) を中心に—	井上 健 日本大学教授・ 東京大学名誉教授
10 月 10 日 (土)	井上靖の『天平の甍』 —奈良の唐招提寺につながる名作への 招待—	藤澤 全 元日本大学教授・ 博士 (国際関係)

◇ 図書館講座

平成 13 年度から文学以外の分野の講座として、暮らしの中の様々な課題解決や生涯学習に図書館の資料・情報を活用してもらうために開催している。講義終了後、図書館職員が蔵書している関連図書についての資料紹介を行い、利用促進を図っている。

平成 27 年度は、年間 3 回、各講座 1 時間 30 分程度行い、聴講者数の合計は 271 人。

※敬称略

開催日	内 容	講 師
11 月 14 日 (土)	「健康情報の見極め方 -自分の健康をどのように考えるか-」	順天堂大学保健看護学部准教授 長沼 淳
1 月 23 日 (土)	「国産ペニシリン第一号誕生の地・三島」	神奈川工科大学名誉教授 松本 邦男
2 月 27 日 (土)	「これからの読書はもっともっと面白くなる！」	ミシマ社代表 三島 邦弘

◇ 図書館利用者講座

市民に情報収集や調べものに図書館を活用してもらい、図書館への理解を深めてもらうため、図書館職員を講師に蔵書検索の仕方やリクエスト等の方法や、外部講師によるデータベースの活用方法について学ぶ講座を開催している。

※敬称略

開催回数	2回		
講師	第1回 図書館職員	第2回 静岡新聞総合メディア局 幸田広志	参加者：合計13人

◇ ビブリオトーク

開催日 平成28年3月5日（土）

場所 生涯学習センター3階 多目的ホール

内容 利用者と本をつなぐイベントのひとつとして実施した。本の紹介をするブースを設け、学芸員、郷土史家、教員など多種多様な方たちに、ボランティアで本の紹介をしていただく交流の場とした。学校司書によるワークショップもあり、好評だった。参加者79人。

◇ おはなし会

子どもたちに、おはなしの楽しさを実感してもらい、本や図書館に親しむ機会をより多く持つてもらおうと同時に、参加者(保護者など)が「読み聞かせ」の実践の場から、子どもと本について知ることを目的に開催した。

開催館	対象	開催回数(回)	参加者(人)
本館	2～3歳児向け	48回	907人
	4歳以上	12回	139人
中郷分館	幼児・児童	50回	278人

◇ 宮西達也スペシャルおはなし会

市内在住の絵本作家、宮西達也氏によるおはなし会を本館児童おはなしコーナーにて実施した。著作絵本をプロジェクター映写し、子どもたちに声をかけながら読み聞かせを行った。

開催日時	10月23日(金) 午前10時～10時20分	参加者	27人
------	------------------------	-----	-----

◇ 子どもと本の教室

行事に参加する子どもたちが自ら興味のあることについて調べ、学習する楽しさを知ってもらおうと同時に、本について親しみや関心、好奇心を引き出すことを目的に開催している。中郷分館については、8回のうち5回が中郷公民館との協働事業であり、駐車場も広く、中郷分館地域に関わらず市内各地域の人たちが参加している。

開催館	開催回数(回)	参加者(人)
本館	3	68
中郷分館	8	231

◇ 子どもと本の講演会

子どもにとって読み聞かせをしてもらうことがいかに大切かを知っていただき、読み聞かせの方法や本の選び方等について学んでもらうことを目的に開催した。

開催日	平成27年11月6日(木)
講師	小宮 由(児童文学翻訳家・家庭文庫主宰)
演題	「このよろこびをあのこにー子どもの本をつくり手わたすことー」
聴講者	111人

◇ 子ども読書の日記念事業

4月23日の「子ども読書の日」を記念し、子どもの図書館利用拡大及び読書普及のため、本館、中郷分館でそれぞれの事業を行った。

本館	4月18日(土)	「しおりをつくろう！」	参加者：49人
中郷分館	4月19日(日)	「本のかたちをしたカードスタンドをつくろう！」	参加者：50人

◇ 富士山の日協賛事業

平成22年度から富士山の日協賛事業として、2月23日におはなし会や工作を行った。

(本館 66人・分館 165人)

◇ てんとうむし文庫との共催事業

市内で活動している家庭文庫と共催で三島市出身の絵本作家、スギヤマカナヨ氏による子どもワークショップとライブトークを実施した。

8月2日(日) 午前10時～11時30分	子どもワークショップ 『絵本のたのしみ、手紙のたのしみ～絵本を通じて手紙を楽しもう！とびだすおばけの手紙をつくろう！～』	小学生 40名
8月2日(日) 午後1時30分～4時	ライブトーク 『おばけの絵本と手紙の楽しみ！』	大人 25名

◇ 学校訪問

希望する小・中学校へ図書館司書が訪問し、図書館の上手な利用法やブックトーク、読み聞かせなどを行い、本への関心を深めてもらうと同時に、図書館利用の拡大を図った。

本館	5校 18クラス 481人 (第2学年 9クラス 243人) (第4学年 9クラス 238人) (※6回実施)
中郷分館	2校 8クラス 254人 (第2学年 4クラス 124人) (第4学年 4クラス 130人)

◇ 放課後児童クラブ訪問

平成24年度から希望する放課後児童クラブへ図書館司書が訪問し、読み聞かせ、工作教室、図書館の利用案内等を行った。(本館 11回 382人)

(中郷 5回 205人)

合計 16回 587人

◇ 子どもの読書活動連携事業

- ・図書館ホームページで三島市内の子どもの読書関連事業について情報発信(平成25年度から)
- ・移動図書館車を活用した連携事業として、市立南幼稚園と組合立若葉保育園の園児、生活指定介護所「えがお」と三島市障がい者支援センター「佐野あゆみの里」の障がい者を対象に実施。てんとうむし文庫の協力を得て職員と一緒に、おはなし会を行い、移動図書館から本の貸出を実施した。合計185名の参加。

*南幼稚園へジンタ号が入ることできなかったため「えがお」に南幼稚園児が来所して実施した。そのことから「えがお」「あゆみの里」の入所者へもおはなし会を行った。

◇ 幼稚園・保育園、小学校、中学校の受入状況

幼稚園・保育園は読み聞かせ、小学校は調べ学習・施設見学、中学校は総合学習・職場体験等で来館。

受入館	幼稚園・保育園	小学校	中学校	総計
本館	19回(延739人)	12回(延894人)	6回(延61人)	42回1,694人
中郷分館	9回(延509人)	3回(延185人)	3回(延20人)	15回714人

◇ 教育施設等への図書館資料のセット貸出

幼稚園等と連携し、「三島市子ども読書活動推進計画」を踏まえて、子どもの読書環境整備を推進するため絵本等の図書館資料、50冊から150冊をセットにし1年間、31団体に貸し出した。

箇所数

幼稚園	保育園	子育て支援センター	公民館	小学校	放課後児童クラブ
3	9	1	1	2	15

◇ ブックスタート事業

絵本を介して、親子が楽しいひと時を分かち合い、親子の絆を深めてもらう目的で、保健センターの3か月児健康教室(毎月第1木曜日午前)に、図書館職員とブックスタートボランティアが出向き、参加の親子に読み聞かせや絵本の話をしてしながら絵本等の入ったブックスタートパックを手渡した。(3か月児健康教室以外での参加者を含む)

実施回数(回)	対象者(人)	参加者(人)	参加者割合(%)
12	811	771	95

◇ セカンドブック事業

ブックスタート事業のフォローアップ事業として、平成22年11月から開始した。保健センターの2歳児健康相談会(毎月第3金曜日午前)に、図書館職員とセカンドブックボランティアが出向き、参加の親子に絵本をプレゼントし、絵本を介して親子の絆をさらに深め、読み聞かせの大切さを理解してもらう。

(2歳児健康相談会以外での参加者を含む)

実施回数(回)	対象者(人)	参加者(人)	参加者割合(%)
12	871	844	97

◇ブックスタート・セカンドブックボランティア養成講座，ボランティア連絡会議
ブックスタート・セカンドブック事業に協力していただける方を対象に、ブックスタートやセカンドブック事業の意義や方法について学んでもらう講座を開催した。また、ボランティアの意見交換や事業について再確認をしてもらうため、ボランティア連絡会議を行った。

開催回数	参加者
10回	延127人

◇ 読み聞かせボランティアのための講座

幼稚園や学校、地域等で活動している読み聞かせをするボランティアの方に、読み聞かせの方法や絵本の選び方等の基礎知識を学んでもらった。

開催日	平成27年5月28日(木)
演題	「読書につなげる読み聞かせ」
講師	大塚 清美(富士宮子どもと読書の会代表・静岡県子ども読書アドバイザー)
受講者	97人

◇ 点訳ボランティア養成講座

点字図書の作成をしているボランティアを対象に、高度な技術や新しい知識を身に付けることを目的に研修会と勉強会を開催した。

講座名	点訳ボランティア研修会	点訳ボランティア勉強会
開催日	平成27年10月15日(木)	年間9回
講師	高橋 洋子	—
受講者	8人	延75人

◇ 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい等により活字資料の利用が難しい方のために、図書館の録音図書を作成するボランティアを養成した。また年1回、今後の活動に生かすため、静岡県視覚障害者情報支援センターの見学と、そのボランティア活動の様子を見学している。

講座名	音訳ボランティア養成講座(上級)	音訳ボランティア視覚障害者情報支援センター研修
開催日	年10回	平成28年1月22日(金)
講師	石井敏子	静岡県点字図書館職員
参加者	延97人	ボランティア3人及び担当職員1人

◇ 点訳・音訳資料作成

養成講座を修了した点訳・音訳ボランティアにより点訳・音訳資料を新規に作成した。資料の目録は視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」、「国立国会図書館サーチ」へ登録した。

種 別	点訳資料	音訳資料
タイトル数	15	18

◇ 点訳・音訳資料の相互利用

視覚障がい者に自館所蔵の資料を貸し出すとともに、全国の図書館へ資料提供を行った。

内 容	点訳・音訳資料 (タイトル)
他館への貸出	140
他館からの借受	455

◇ 点訳資料データのダウンロード

全国の視覚障がい者等に視覚障害者情報ネットワーク「サピエ」を活用して、点訳データの提供を行った。

ダウンロード利用回数	126 回
------------	-------

◇ 音訳資料データのダウンロード

全国の視覚障がい者等に国立国会図書館「視覚障害者等用データ送信サービス」を活用して、音訳データの提供を行った。

ダウンロード利用回数	1,533 回
------------	---------

◇ 図書館ボランティア活動状況

図書館活動の支援と図書館の理解を深めてもらうことを目的に、図書館のボランティア活動に参加していただいた。

活 動 内 容	
	新聞記事のスクラップ作成、主催事業の手伝い、新刊図書の手配、移動図書館業務補助等
ボランティア登録者	32 人
ボランティア活動延回数	595 回

◇ 研修受入

教職員(初任者研修)及び大学生、高校生、中学生の研修の場として、図書館業務体験を通して図書館への理解を深めていただいた。

分類 館別	教職員	大学生(インターシップ)	同(司書課程実習生)	高校生	中学生
本館	0	0	0	1校 1人	5校 21人
中郷分館	0	0	0	0	2校 4人

◇ ふれジョブ受入

ふれジョブとは、支援を必要とする子どもが放課後や休日を利用して地域の企業や店などに出向き、ジョブサポーターと共に「しごと(job)」をする活動。中郷分館で平成27年度より受入を開始した。

受入館	受入者	受入期間	回数
中郷分館	1名	平成27年10月～平成28年3月	10回

◇ 資料展示

<本館：1階展示コーナー>

「ふるさとの文学者」	常設展示 大岡博・信、小出正吾 関係資料
「えがしらみちこ『あめふりさんぼ』原画展」	2月～5月
「移動図書館ジント号の歴史」	6月～9月
「宮西達也ワンダーランド」	9月～1月
「近世東海道・三島宿を旅した人たち」	2月～5月

<ブックトラック展示>

「富士山」や「日本の近代化産業遺産」、「暮らしの歳時記」など季節や時事等のタイムリーな内容で、ブックトラックを利用した簡易な展示を行い、一般図書コーナー、児童コーナーそれぞれ年11回展示替えを行った。

<YAコーナー展示>

若い世代の読書推進を図るため、YA書架を利用し、「動物の出てくる本」、「若い人に贈る読書のすすめ」、「おいしい料理が出てくる本」、「歴史ファンタジー」、「科学の本」など年5回展示替えを行った。

<中郷分館展示>

中郷分館資料の利用促進を図るため、ブックトラック等を利用し、話題になっている事柄や季節に合わせた内容で、一般書8回、児童書9回展示替えを行った。

◇ 雑誌等のリサイクル

保存期限を過ぎた雑誌等を学校・施設等に配布後、残った雑誌等を更にリサイクルするため、希望する個人利用者に配布した。

項目	本館	中郷分館
実施期間	平成28年2月3日～2月11日	平成27年7月10日～17日 平成27年11月14日～20日
対象資料点数(点)	4,827	1,068
配布資料点数(点)	4,253	838
配布人数(人)	613	183

児童図書は、平成28年1月20日～22日

幼稚園、保育園、小学校、中学校の27施設へ239冊配布した。

10 平成28年度予算(当初)

(単位：千円)

節	金額	説明
1 報酬	1,775	図書館協議会委員・嘱託職員報酬
2 給料	68,057	一般職
3 職員手当等	36,663	扶養手当・調整手当等
4 共済費	27,224	共済組合負担金・社会保険負担金等
7 賃金	34,094	臨時雇賃金
8 報償費	477	講座講師謝礼
9 旅費	150	費用弁償 28 普通旅費 122
1 1 需用費	9,843	消耗品費 8,690 燃料費 140 印刷製本費 791 修繕費 221 医薬材料費 1
1 2 役務費	542	通信運搬費 413 手数料 33 自動車損害保険料 96
1 3 委託料	1,162	閉架書庫くん蒸委託料 252 閉架書庫保守点検業務委託料 364 地域資料デジタル化委託 546
1 4 使用料及び賃借料	4,583	使用料 4,571 通行料 12
1 8 備品購入費	33,950	図書購入費 33,400 館用備品費 550
1 9 負担金補助及び交付金	147	図書館協会負担 37 静岡県図書館協会負担金 90 静岡州市立図書館協議会負担金 15 東部地区図書館研究会負担金 5
2 2 公課費	66	自動車重量税 66
合計	218,733	

11 平成28年度主要事業

・一般サービス事業（本館）

事業等	実施時期	対象	内容
文学講座	7～10月 (5回/年)	一般	古典から現代文学、ふるさとの文学について、開講し読書普及を図る。
図書館講座	11～2月 (3回/年)	一般	暮らしの中の様々な課題解決や生涯学習に図書館の資料・情報を活用してもらうために、多様な内容で開催する。
図書館利用者講座	5・10月 (2回/年)	一般	情報収集や調べ方等の図書館利用方法を学び、図書館への理解を深めてもらう。10月は、オンラインデータベースでの新聞記事とデータ検索演習を行う。
ビブリオトーク	7月9日	一般 児童	「読書の達人」がおススメ本を紹介する。子供向けの楽しい催しも用意する。特別講師に、京都の書店「誠光社」の代表者を迎える。
音訳ボランティア養成講座	4月～3月 (10回/年)	登録者	視覚障害等により活字資料の利用が難しい方のために、図書館の録音図書を作成するボランティアを養成する。
点訳ボランティア研修会 点訳ボランティア勉強会	10月(1回/年) 4～3月(9回/年)	登録者	ボランティアとして活動している方を対象に、高度な技術や新しい知識を身につけてもらう事を目的に開催する。

・児童サービス事業（本館）

事業等	実施時期	対象	内容
子どもと本の講演会	10月・11月 (1回/年)	一般	子どもの成長にとって読書がいかに大切か、保護者や市民に理解してもらう。
子どもと本の教室	7・8月 (3回/年)	児童	図書館や本に親しみ、又活用してもらうため、本の探し方を学んだり、所蔵図書を利用した創作や体験を通して、読むだけではない本の楽しさを知ってもらう。
読み聞かせボランティアのための講座	6月7日 (1回/年)	読み聞かせ ボランティア	学校や地域で活動している読み聞かせボランティアに読み聞かせの方法や絵本の選び方を学んでもらう。
おはなし会	毎週水曜日 第3日曜日	幼児児童 保護者	子どもたちに、本や図書館に親んでもらうため、読み聞かせ等を行う。
学校訪問サービス	6月～2月	小学校	学校に出向き、ブックトークや読み聞かせ、図書館の利用案内等を行い、読書推進を図る。
放課後児童クラブ訪問サービス	4月～3月	放課後 児童クラブ	放課後児童クラブに出向き、ブックトークや読み聞かせ、図書館の利用案内等を行い、読書推進を図る。
子ども読書の日記念事業	4月23日	児童	子どもが読書に親しみきっかけとなるよう所蔵図書を利用して、パラパラ絵本をつくる。
ブックスタート事業	毎月1回	乳児 保護者	絵本や読み聞かせを介して親子のふれあいや絆を深めてもらうため、保健センターの3か月児健診に図書館職員やボランティアが出向き、読み聞かせ等の大切さの説明と実演を行ない、絵本バックを手渡す。
セカンドブック事業	毎月1回	幼児 保護者	ブックスタート事業のフォローアップ事業として、保健センターの2歳児健康相談会に、図書館職員やボランティアが出向き、参加の親子に絵本をプレゼントし、絵本を介して親子の絆をさらに深め、読み聞かせの大切さを理解してもらう。
ブックスタート・セカンドブックボランティア 養成講座	2月頃	一般	ブックスタート・セカンドブック事業に協力していただける方を対象に、ブックスタートやセカンドブック事業の意義や方法について学んでもらう。
移動図書館を活用した 子どもの読書連携事業	10月～ 11月	保育園 幼稚園	子ども読書活動推進に伴う連携事業の一つとして実施。移動図書館のステーションとなっていない幼稚園、保育園へ単発で何園か訪問し、ボランティア団体と司書が一緒に読み聞かせを行い、本の貸出も行う。
富士山の日記念事業	2月23日	幼児 小学生	2月23日の富士山の日協賛事業としておはなし会や工作を実施し、富士山に興味を持ってもらうとともに、図書館利用の推進を図る。

・その他（本館）

事業等	実施時期	対象	内容
雑誌等のリサイクル	1～2月	本館	保存期限を過ぎた雑誌等を施設等に配布後、更に残った雑誌等を希望者に配布する。
資料展示	展示替 (5回/年)	本館	三島ゆかりの文学や作家等の資料展示や話題のテーマ展示等を行い、読書活動の啓発を図る。
「図書館だより」の発行	5・8・11・2月 (4回/年)	—	図書館事業、新着図書や身近な資料の話題を掲載した広報誌を発行する。
行政支援メールマガジンの配信	6.10.2月 (3回/年)	市職員	図書館の機能を行政にも活用してもらうため、利用方法や資料・情報を紹介するメールマガジンを庁内イントラネットで配信する。
地域資料のデジタル化	—	—	古く、保存状態の悪い地域資料を保存し、閲覧しやすくするためデジタル化する。
雑誌スポンサー事業	—	—	雑誌の購読料を負担してもらうことで、図書館の応援してくれる法人、その他の団体及び個人事業者(企業等)のスポンサーを募集。スポンサーになっている間、雑誌架、雑誌カバーにスポンサーの広告を掲載する。

・中郷分館サービス事業

事業等	実施時期	対象	内容
子ども読書の日記念事業	4月24日	児童	子どもが読書に親しみきっかけとなるよう所蔵図書を利用して、「とび出すおはなしカード」をつくる。
子どもと本の教室	夏休み:2回 10月 (3回/年)	幼児 児童 保護者	所蔵の図書を利用し、子どもたちに創作や体験を通して、読むだけではない本の楽しさを知ってもらう。親子で参加できる教室も設ける。
おはなし会	毎週水曜日	幼児 児童 保護者	子どもたちに、本や図書館に親しんでもらうため、読み聞かせ等を行う。
学校訪問サービス	6月～2月	中郷地区の 小中学校	中郷地区の学校に出向き、ブックトークや読み聞かせ、図書館の利用案内等を行い、読書推進を図る。
放課後児童クラブ訪問サービス	4月～3月	中郷地区の 放課後児童 クラブ	中郷地区の放課後児童クラブに出向き、ブックトークや読み聞かせ、図書館の利用案内等を行い、読書推進を図る。
図書館だより 「ほんだな」の発行	毎月	—	分館事業、新着資料、身近な話題を掲載した広報誌を発行する。
雑誌のリサイクル	11月	—	保存期限を過ぎた雑誌を施設等に配布後、更に残った雑誌を希望者に配布する。
他課との連携	夏休み:2回 12月 (3回/年)	幼児 児童 保護者	中郷公民館との共催事業として行う。
絵本くじ	1月	小学生以下	来館した児童にくじを引いてもらい、くじに書かれた番号と同じ番号の、図書館が事前に選んだ絵本を1冊貸出する。
富士山の日記念事業	2月23日	幼児 児童 一般	2月23日の富士山の日協賛事業として、富士山に関する図書の展示や工作等を実施し、富士山に興味を持ってもらうとともに、図書館利用の推進を図る。

<参考資料>

三島市立図書館条例

平成8年11月29日条例第28号

改正 平成24年3月23日条例第9号

(趣旨)

第1条 この条例は、図書館法(昭和25年法律第118号。以下「法」という。)第10条及び第16条第1項の規定に基づき、市立図書館及び図書館協議会の設置等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 三島市に図書館を設置する。

2 図書館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
三島市立図書館	三島市大宮町1丁目8番38号

第3条 三島市立図書館(以下「図書館」という。)に、分館を設置する。

2 分館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
三島市立図書館中郷分館	三島市梅名353番地の1

(業務)

第4条 図書館は、図書館奉仕のため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 図書、記録、視覚聴覚教育の資料その他必要な資料(以下「図書館資料」という。)を収集し、整理し、及び利用に供すること。
- (2) 図書館資料の利用のための相談に応ずること。
- (3) 移動図書館の運営に関すること。
- (4) 読書会、研究会、講演会、鑑賞会、資料展示会等の開催及びその奨励に関すること。
- (5) 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。
- (6) 他の図書館、学校、公民館等との連絡及び協力並びに他の図書館との図書館資料の相互貸借に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める業務

(職員)

第5条 図書館に、館長その他必要な専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

(損害賠償)

第6条 図書館の施設、附属設備及び図書館資料を損傷し、又は滅失した者その他図書館に損害を与えた者は、市長が相当と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ないと認めたときは、この限りでない。

(図書館協議会)

第7条 法第14条第1項の規定により、三島市図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、7人以内とし、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 協議会に、会長及び副会長それぞれ1人を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 5 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

(委任)

第8条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成9年4月29日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。
 - (1) 第3条、第4条(三島市立図書館中郷分館に係る業務に限る。)、第6条及び次項(同項第2号に係る部分に限る。)の規定 平成8年12月1日
 - (2) 第7条の規定 平成9年4月1日(三島市立図書館設置条例等の廃止)
- 2 次に掲げる条例は、廃止する。
 - (1) 三島市立図書館設置条例(昭和36年三島市条例第25号)
 - (2) 三島市立図書館手数料条例(昭和48年三島市条例第18号)(三島市民文化会館条例の一部改正)
- 3 三島市民文化会館条例(平成2年三島市条例第20号)の一部を次のように改正する。

[次のよう] 略

附 則(平成24年条例第9号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

三島市立図書館条例施行規則

平成 8 年 11 月 29 日教委規則第 7 号
改正 平成 10 年 3 月 31 日教委規則第 1 号
改正 平成 13 年 12 月 21 日教委規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、三島市立図書館条例（平成 8 年三島市条例第 28 号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第 2 条 三島市立図書館(以下「図書館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 7 時（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日にあつては、午後 5 時)までとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第 3 条 図書館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日であるときは、その翌日）
- (2) 図書整理日（毎月の末日（その日が日曜日、月曜日、土曜日又は国民の祝日に関する法律に規定する休日であるときは、教育委員会が別に定める日）をいう。）
- (3) 12 月 28 日から翌年の 1 月 3 日までの日
- (4) 図書特別整理期間（毎年 2 週間以内の範囲において教育委員会が定める期間をいう。）

(館内利用)

第 4 条 条例第 4 条第 1 号の図書館資料（以下「図書館資料」という。）を図書館内において利用する者(以下「館内利用者」という。)は、所定の場所においてこれを利用しなければならない。

- 2 図書館長(以下「館長」という。)が特に指定する図書館資料は、館長が指定した場所において利用しなければならない。
- 3 館内利用者が退館するときは、当該利用した図書館資料を所定の場所に返納しなければならない。

(館内利用者の遵守事項)

第 5 条 館内利用者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 図書館の施設、附属設備及び図書館資料を汚損しないこと。
- (2) 図書館資料を利用する場所では、音読（所定の場所において音読する場合を除く。）、談話、飲食その他他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 所定の場所以外で喫煙しないこと。
- (4) 図書館資料の利用席の区分を乱さないこと。
- (5) その他管理上必要な館長の指示に従うこと。

(入館の制限等)

第 6 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、図書館への入館を拒否し、又は図書館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。

- (2) 条例又はこの規則に違反したとき。
- (3) その他図書館の管理上支障があると認めるとき。

(館外貸出し)

第7条 館長は、図書館資料の館外貸出しを行うことができる。ただし、第4条第2項に規定する図書館資料は、館長が特に認めた場合を除き、館外貸出しを行わないものとする。

- 2 館外貸出しを受けることができる者は、市内に住所を有する者、市内に存する事務所又は事業所に勤務する者若しくは市内に存する学校に在学する者とする。
- 3 館長は、広域的な図書館活動を行うため必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、同項に規定する者以外の者につき館外貸出しを行うことができる。
- 4 館外貸出しができる図書館資料の数量は、1人につき、図書にあっては10冊以内、図書以外の図書館資料にあっては3点以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。
- 5 館外貸出しの期間は、15日以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、館長が別に定める期間とする。

(貸出カード)

第8条 館外貸出しを受けようとする者は、身元を証する書類を提示して様式第1号による貸出カード申込書を館長に提出し、様式第2号による貸出カード（以下「貸出カード」という。）の交付を受けなければならない。

- 2 館外貸出しを受けるときは、貸出カードを係員に提示しなければならない。
- 3 貸出カードの有効期間は、交付の日から5年とする。
- 4 前項の有効期間の満了により当該期間の更新を受けようとする者は、速やかに更新を受けなければならない。
- 5 第1項の規定は、前項の更新について準用する。ただし、館長が特に認めるときには、貸出カード申込書の提出を省略することができる。
- 6 貸出カードは、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

(貸出カードの紛失等の届出)

第9条 貸出カードの交付を受けた者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、速やかに館長に届け出なければならない。

- (1) 貸出カードを紛失したとき。
- (2) 貸出カードの有効期間が満了し、更新を受けないとき。
- (3) 第7条第2項に規定する要件に該当しなくなったとき。
- (4) 前条第1項の貸出カード申込書の記載事項に変更があったとき。

(館外貸出しの停止)

第10条 館長は、館外貸出しを受けた者が第7条第5項に規定する期間内に図書館資料を返納しなかったとき、又は第8条第6項若しくは前条の規定に違反したときは、一定の期間、館外貸出しを停止することができる。

(団体等貸出し)

第11条 館長は、市内の社会教育関係団体、事業所等(以下「団体等」という。)に対して、図書の貸出しを行うことができる。ただし、第4条第2項に規定する図書館資料は、特に必要と認める場合を除き、館外貸出しを行わないものとする。

- 2 前項の規定による貸出し(以下「団体等貸出し」という。)ができる図書の数量は、1団体につき100冊以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、

この限りでない。

- 3 団体等貸出しの期間は、2箇月以内とする。ただし、館長が特に必要と認めるときは、館長が別に定める期間とする。

(団体等貸出カード)

第12条 団体等貸出しを受けようとする団体等は、その責任者を定め、当該責任者の身元を証する書類を提示して様式第3号による団体等貸出カード申込書を館長に提出し、様式第4号による団体等貸出カード（以下「団体等貸出カード」という。）の交付を受けなければならない。

- 2 団体等貸出しを受けるときは、団体等貸出カードを係員に提示しなければならない。
- 3 団体等貸出カードの有効期間は、交付の日からその日の属する年度の3月31日とする。
- 4 前項の有効期間の満了により当該期間の更新を受けようとする団体等の責任者は、速やかに更新を受けなければならない。

- 5 第1項の規定は、前項の更新について準用する。

- 6 団体等貸出カードは、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

(団体等貸出カードの紛失等の届出)

第13条 団体等貸出カードの交付を受けた団体等の責任者は、次の各号のいずれかに該当する場合は、速やかに館長に届け出なければならない。

- (1) 団体等貸出カードを紛失したとき。
- (2) 団体等貸出カードの有効期間が満了し、更新を受けないとき。
- (3) 前条第1項の団体等貸出カード申込書の記載事項に変更があったとき。

(団体等貸出しの停止)

第14条 館長は、団体等貸出しを受けた団体等が第11条第3項に規定する期間内に図書館資料を返納しなかったとき、又は第12条第6項若しくは前条の規定に違反したときは、一定の期間、団体等貸出しを停止することができる。

(移動図書館)

第15条 館長は、市民の読書の利便に資するため、市内の特定の場所（以下「巡回場所」という。）を巡回して図書の個人貸出しを行うものとする。

- 2 前項に規定する図書の個人貸出（以下「移動図書館」という。）の実施方法その他移動図書館の実施内容については、館長が別に定める。
- 3 第7条から第10条までの規定は、移動図書館について準用する。この場合において、第7条第5項本文中「15日以内」とあるのは、「当該貸出しの日から当該巡回場所を次に巡回する日まで」と読み替えるものとする。

(寄贈又は寄託)

第16条 図書館は、図書館資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 寄贈及び寄託を受けた図書館資料は、図書館が所有する図書館資料と同様に取り扱うものとする。
- 3 図書館は、寄託を受けた図書館資料が通常の下で生じた損失については、その責めを負わないものとする。

(図書館資料の複写)

第17条 図書館の図書、記録その他の資料の複写（磁気ディスクその他これに類するものから出力されたものの交付を含む。以下「複写等」という。）を依頼しようとする者は、様式第5号による複写等申込書を館長に提出し、その許可を受

けなければならない。

- 2 館長は、前項に規定する申し込みがあった場合において、複写により著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）上問題が生ずるおそれがあると認めるときその他複写等が適当でないと認めるときは、当該申し込みに応じないものとする。
- 3 複写等をしたときは、当該申込者から実費を徴収する。

（補則）

第 18 条 この規則に定めるもののほか、図書館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この規則は、平成 9 年 4 月 29 日から施行する。ただし、第 17 条の規定は、平成 8 年 12 月 1 日から施行する。

（三島市立図書館規則の廃止）

- 2 三島市立図書館規則（昭和 53 年三島市教育委員会規則第 1 号）は、廃止する。

附 則（平成 10 年教委規則第 1 号）

この規則は、平成 10 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 13 年教委規則第 5 号）

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

三島市立図書館資料収集方針

三島市の図書館は、図書館法・三島市立図書館条例及び三島市立図書館規則に基づき、「水と緑と文化のまち・三島」にふさわしい図書館として、資料の収集にあたって準拠すべき方針を次に定める。

(基本方針)

国民の基本的人権である「知る自由」「学習の自由」を保障するため、「図書館の自由に関する宣言」に基づくことを原則とする。

- 1) 公共図書館の役割、利用者各層の要求、社会的動向等十分に配慮して、広く市民の教養・調査研究・趣味・レクリエーション等に資する資料を計画的・組織的に収集する。
- 2) 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
- 3) 著者の思想的・宗教的・党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- 4) 図書館員は個人的な立場や偏りによって選択をしない。
- 5) 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾を恐れて自己規制したりはしない。

(資料の収集範囲)

- 1) 一般的資料から専門的資料に至るまで各分野にわたって広範囲にわたり、出版状況等を配慮しながら収集する。
- 2) 学派、学説など対立する意見のある問題については、それぞれの視点に立った資料を、幅広く収集する。
- 3) 同一資料については、1冊収集を原則とするが、利用頻度の高い資料、地域資料等については、2冊以上収集することができる。

(資料の種類)

- 1) 図書 (一般図書・参考図書・児童図書・外国語図書)
- 2) 逐次刊行物 (新聞・雑誌・その他)
- 3) 官公庁出版物
- 4) 地域資料
- 5) 視聴覚・ニューメディア資料
- 6) 障害者用資料 (点字資料・録音資料・大活字本・その他)
- 7) その他 (マイクロフィルム・その他)

(種類別収集方針)

- 1) 図書
 - a 一般図書
市民の教養・調査研究・趣味等に資するため基本的・入門的な図書その他、必要に応じて専門的な図書まで幅広く収集する。
ただし、特殊な専門学術書・学習参考書・各種試験問題集およびテキスト類は、原則として収集しない。
青少年に対しての読書を促すための図書についても留意して収集する。

- b 参考図書
 - 市民の日常の調査研究のために必要な辞典・事典・年鑑・名鑑・目録・書誌地図等幅広く収集する。
 - c 児童書
 - 児童が読書を楽しみ、読書習慣の形成と継続に役立つよう、各分野の資料を広く収集する。漫画本は原則として収集しない。
 - d 外国語資料
 - 基本的・入門的な図書を必要に応じて計画的に収集する。
 - また、外国語でかかれた日本紹介図書についても同様に収集する。
- 2) 逐次刊行物
- a 新聞
 - 国内発刊の全国紙を中心に、児童・青少年向けをも含めて収集する。
 - 専門紙、機関紙については、利用頻度に応じて収集する。
 - また海外新聞についても同様に収集する。
 - b 雑誌
 - 国内発行の各分野における基本的な雑誌を中心に児童・青少年向けのものも含めて収集する。
 - 高度な専門誌、娯楽雑誌については、利用頻度及び必要に応じて収集する。
 - 海外雑誌についても同様に収集する。
 - 漫画雑誌については、原則として収集しない。
 - c 年鑑・白書・年報等
 - 一般図書、参考図書に準じて収集する。
- 3) 官公庁出版物
- a 政府諸機関が発行する資料については、主要なものを収集する。
 - b 地方公共団体、その他公的機関が発行する資料は、必要度の高いものを収集する。
- 4) 地域資料
- a 三島市に関するもの
 - 図書・新聞・雑誌・行政資料・パンフレット・地図・写真等多様な形態の資料であっても可能な限り収集する。
 - b 静岡県・県内市町村・箱根に関する資料
 - 基本的資料、歴史的資料および三島に関する資料を中心に収集する。
 - c 準郷土資料（駿豆相連絡協議会協定）
 - 神奈川県・小田原市域の歴史的資料を収集する。
 - d 三島市の特色である「水」に関する資料は計画的に収集する。
 - e 姉妹都市の資料の収集に努める。
 - f 三島市出身者および在住者などの著作は積極的に収集する。

- 5) 視聴覚・ニューメディア資料
- a 趣味・教養または文化活動に資するため、活字資料では保存しにくいもの、また活字資料より有効的なものであるところの、録音資料・映像資料であるカセットテープ・CD・LD・ビデオテープ・電子出版物等を収集する。
 - b 新聞データベース、行政・情報データベースなどのデータベースの活用を図る。
- * 新館の蔵書計画に基づいて、貸出用、館内視聴用としては、CD、ビデオテープを優先して収集する。
- 6) 障害者用資料
視聴覚障害者の利用に供するため、点字資料、録音図書、大活字本等を収集する。
- 7) その他の資料
マイクロフィルム・パンフレット・リーフレット等は必要に応じて収集する。

(資料の収集方法)

資料の収集については、購入を原則とするが、寄贈・寄託・交換及び複製等を必要に応じて十分に活用する。

尚、この場合についてもこの収集方針を適用する。

(資料の相互協力)

国立国会図書館・県立図書館・近隣市町村図書館及び各種図書館・類縁機関等の連携・協力・役割分担を進めながら資料収集にあたる。

(資料の更新)

利用による汚破損、また利用者各層の要求・資料の新鮮さを保つため、蔵書構成を考慮しながら更新に留意する。

三島市立図書館資料除籍基準

第1 趣旨

この基準は、三島市立図書館条例施行規則（平成8年三島市教育委員会規則第7号）第18条の規定に基づき、三島市立図書館における資料の除籍に関し、必要な事項を定めるものとする。

第2 基本方針

三島市立図書館は、適正な資料構成を維持し、その充実を図るため、この基準に基づき、対象資料の除籍を行う。

第3 除籍の対象資料

除籍の対象となる資料及びその基準は、原則として次のとおりとする。

1 不要資料

- (1) 時間の経過により、その内容が古くなり、資料的な価値や利用価値が著しく低減した資料
- (2) 新版、改訂版又は類似資料の入手により、代替可能となった既存資料
- (3) 利用が減少した複本及び類似資料
- (4) 利用の可能性及び資料的な価値が低く、保存が必要とされない資料
- (5) 保存期間を過ぎた雑誌及び新聞（永年保存のものを除く。）

2 汚損、破損資料

破損、汚損等の状態が著しく、類似資料のあるもの

3 亡失資料

- (1) 利用者が破損、汚損又は紛失した資料
- (2) 災害等により、回収が不能となった資料
- (3) 貸出資料のうち、6年以上返却されず、返却の見込みのない資料
- (4) 資料点検の結果、所在不明となった資料で、3回目の資料点検においても不明のもの

第4 除籍対象外の資料

除籍の対象外とする資料は、次のとおりとする。

- (1) 郷土資料のうち、新たに入手することが困難であるもの。
- (2) 絶版等の理由により、新たに入手することが困難な資料で、特に保存する必要があるもの
- (3) 永年保存又は分担保存協定により指定された逐次刊行物
- (4) 他に類する資料がなく、特に保存の必要があるもの

第5 除籍資料の決定

除籍資料の決定は、各部門ごと担当職員が選定し、図書館長が決定する。

第6 除籍資料の取り扱い

- 1 除籍した資料は、所定の手続を経た上で、廃棄等の処分を行う。
- 2 除籍した資料は、必要に応じて、他の公共施設等に移管、又は団体、個人に譲渡することができる。

平成28年度

図書館概況

発行日 平成28年5月

発行 三島市立図書館

〒411-0035

静岡県三島市大宮町1丁目8番38号

Tel. 055-983-0880

Fax. 055-983-0876

[http:// tosyokan@city.mishima.shizuoka.jp](http://tosyokan@city.mishima.shizuoka.jp)

※平成12年度から、表題の年度を発行年度とさせていただきます。
※この印刷物は、再生紙を使用しています。